

第4回 火山噴火予知連絡会議事録

日時： 昭和50年5月22日(木) 13:30~17:30
場所： 気象庁
出席者： 永田、横山、高木、浅田、下鶴、青木、久保寺、
加茂、高橋、沢田(科技厅)、吉野(国土庁)
大山(文部省)、瀬戸、杉浦、有住、須田、
諏訪、末広、神沼(幹事)

(議事に入る前に、有住委員から、省令により気象庁地震課に4月2日付で火山室が設置され、室長、調査官(3名)、2係の計10名で室長には野島が就任した旨報告があった。また、末広委員が当日、国会の委員会に長時間出席のため、下鶴委員が会務を担当した。)

1. 第3回連絡会議事録(案)は異議なく承認された。
2. 火山カルテ(案)の検討

火山室長から、(1)前回の決定により、下鶴、諏訪 両委員と連絡会庶務とでFormatをきめた。(2)各機関の火山観測施設は、常時観測実施中のものを示し、地形図に入るものは図示。常時観測施設のない火山については、臨時に行った観測も示した。

(3) SiO₂については、前回の決定にもかかわらず記述の都合で簡単にした。(4)地形図の使用承認と印刷原図用地図についての国土地理院委員へのお願等が説明された。そのあと、各火山毎に審議した結果、次の事項が決定した。

(ア) 表題は、日本活火山要覧とし、A4版とする。

(イ) 地形図は国土地理院の5万分の1に統一し、止むを得ぬ場合に限り縮尺を変える。

(ウ) 火山に通し番号を付す(方法は気象庁にまかせる)。

(エ) 本文中の「3.火山観測施設」は「3.火山観測」とし、付録として、常時観測施設の表(所属、住所、電話番号)と臨時観測一覧表(各火山毎の実施機関名、観測年、観測種目等)をのせる。臨時観測は最近20~30年間のものとしFormatを作り書きこんでもらう。

このほか、会長と気象庁長官の序文、南千島の火山と南硫黄島以南の海底火山をのせること、観測施設の電話番号について重要な時期に業務の妨害にならぬような配慮の必要、本カルテの使用対象範囲の考え方等につき意見があった。

3. 最近の火山活動について(報告及び検討)

3.1 桜島

加茂委員は、昭和49年12月~50年3月実施の科研費による桜島総合調査の結果を、地震・地盤変動・地磁気・重力・火山ガス・地下水・地質噴出物・熱分布について総括的に説明し、地磁気、重力、地盤変動の3者は相互関係にあり、程度はいえないが、異常といえる。しかし独立のデータのみで異常を支持するものはない、との見解を示した。会長は、地磁気について、古里の伏角の変化は大き過ぎ、近くの昭和溶岩が冷えつ

つある影響を大きく受けているきらいがあると個人的見解として述べた。気象庁の観測結果（気象庁）、新島の陥没（沢田、加茂）についての説明のあと、活動の基調は横ばいと認められ次の統一見解に達した。

（統一見解） 桜島の火山活動について

桜島火山の活動は、現在もお活発であるので、昨年12月より本年3月にかけて関係大学、気象庁による集中観測が行われた。

観測項目は、地震活動、辺長測量、水準測量、地磁気測量、重力測定、地熱遠隔測定、火山ガス、温泉、地下水、固体噴出物の分布などであり、これらの観測のうち、あるものは前回の測定値と比較できるものもあり、今回はじめて行われた観測もある。

これらの観測結果を総合的に検討した結果、現在、桜島が大規模な活動に移行する兆候は特に見当たらない。しかし、この種の各種観測は、今回が第1回であり、今後同一観測を繰返し実施して、火山活動の推移を調査する必要がある。

3.2 阿蘇山

阿蘇カルデラ北部の群発地震（久保寺委員）、阿蘇山の火山活動（気象庁）の説明のあと次の統一見解に達した。

（統一見解） 阿蘇山の火山活動について

阿蘇火山中岳の活動は、4月中旬以降平常にもどりつつある。本年1月の阿蘇外輪山付近に発生した群発性地震及び、4月21日の大分県中部の地震によつて、阿蘇火山の表面現象には特に変化はなかった。

3.3 雌阿寒岳

3～4月に地震が増加した（気象庁）ので一応注意を要する。

3.4 草津白根山

昨年12月から実施した臨時震動観測の結果では、変動はあるが、全般的には地震活動は活発といえない。ただ地震記象紙に、今まであまり現われない型のものがあらわれている（気象庁）。しかし特に噴火に結びつくものとは思われない。

3.5 有珠岳付近の地殻変動（瀬戸委員）

国土地理院と北海道大学とで今後注意していく。

4. 連絡会庶務報告

5. 協議事項

5.1 本連絡会の正式英文名

The Coordinating Committee for Prediction of Volcanic Eruptions

5.2 次回連絡会の開催期日

昭和50年10月13日(月) 予定

5.3 その他

毎回記者会見を行う必要があるかとの意見が出たが、特に活動が活発な火山がなくとも小康状態にあるという情報も必要であるから、なおしばらく続けることにした。ただ、記者会見の時刻に審議が拘束される点は改善する必要があるので、検討することにした。